

An aerial photograph of Mount Fuji, Japan, showing the snow-capped peak and the surrounding mountainous terrain. The image has a blue tint. The title text is overlaid on the left side of the image.

富士山を守る

寺内嵩造・須田雄朔・小西麻美

目次

1. 新聞記事の紹介・要約
2. 富士山について
3. レンジャーについて
4. 問題意識
5. 政策提言
6. コスト計算

富士山の環境保全の課題：／下 レンジャー不足 事務で忙殺

世界文化遺産に選ばれた富士山では、30万人を超える登山者へのルール啓発と自然破壊を防ぐための監視の充実が急務だ。しかし、その役割を担うはずの国のレンジャー（自然保護官）は事務作業に忙殺されているのが現状だ。加えて、国や地方行政の連携も不十分との声も上がっている。

「夏は登山道を毎日、パトロールするのが理想ですが、できていないのが現状です」

山梨県の「富士山レンジャー」、滝島啓介さん（30）は人手不足を訴える。県が2005年度から5年の任期で雇用を始めた富士山レンジャーは、登山者に注意を喚起し、自然を保護・監視する仕事を担う。

ところが、スタッフは4人だけ。しかもカバー範囲は、山梨県富士吉田市など1市1町3村内の国立公園と広大だ。その中で、ごみの不法投棄や植物の盗掘、自然のモニタリングなど業務は多岐にわたる。特に、自然の変化を把握するモニタリングは、長年の経験がものを言うが、5年の任期付きの身分だ。

●パトロール週2回

「一生に一度、富士山に登ってみたい」と願う人は多い。登山初心者が半数を超えるとされるうえ、外国人も多い。登山知識の不足から、登山道を外れて歩いたり、珍しい形の溶岩を持ち帰ろうとしたり、ルール違反も目立つ。滝島さんは「登山者にルールをよく知ってもらわなければならないが、スタッフは十分でない。自然へのダメージが心配だ」と話す。富士山の環境保全に携わるのは、富士山レンジャーのほか、環境省のレンジャー6人と、任期付きのアクティブレンジャー5人の計11人がいる。しかし、環境省のレンジャーは、国立公園内の土地開発や建物の建設など、事務的な許認可業務に忙殺されている。夏の登山最盛期でも、週2回ほどしか現場に出られていないという。同省の担当者は「富士山に重点的に配置しようにも定員は決まっている」と説明する。（次頁へ続く）

●民間で人材育成

一方、自然の保全・監視に精通した人材を育成しようとする動きもある。東京環境工科専門学校(東京都墨田区)では2年間で最低でも計80日ほどの野外実習を取り入れ、たき火の仕方からロープの使い方、生物調査方法など現場で生かせる技術の習得を目指す。これまで約1400人が卒業したが、環境省のレンジャーになる以外に、自身でエコツアーガイド会社を設立したり、民間の自然学校に就職したりしている。幸丸(こうまる)政明校長は「国立公園内で一番少ない生き物はレンジャーだと皮肉られる。卒業生のネットワークは広がってきており、国のレンジャーとも連携した活動ができれば理想だ」と話す。

国立公園の管理などに詳しい、東北大の中静(なかしずか)透教授は「国や県のレンジャーを増やすことはもちろん、民間のガイドやボランティアが協力できる仕組みづくりを検討する必要がある」と指摘する。【渡辺諒】

.....

◇レンジャー

国のレンジャーは、国立公園内の現地調査や許認可業務などを行う。1953年に始まり、全国に273人いる。2006～13年の新規採用数は年4～18人で推移。05年にはレンジャーを補佐する任期付き(基本的に3年間)のアクティブレンジャーを導入し、現在は85人。山梨県など独自にレンジャー制度を導入する自治体もある。

2013.09.13 毎日新聞 東京朝刊

記事の要約

- ◆ 富士山ではレンジャーの不足が問題になっている(特に登山シーズンである夏季)
- ◆ 経験を要する業務があるにも関わらず, 任期が短い
- ◆ 国や地方行政, 民間・ボランティア団体間の連携が不十分である

富士山について

- ◆ 静岡県の富士宮市，裾野市，富士市，御殿場市，駿東郡小山町

山梨県の富士吉田市，南都留郡鳴沢村
にまたがる活火山



- ◆ 標高**3776**メートル 日本最高峰
- ◆ 古くから霊峰として人々の信仰を集め，多くの芸術作品の題材になるなど，芸術面でも大きな影響を与えた
- ◆ 現在，富士山麓周辺には数多くの観光名所があり，夏季には富士登山が盛んになる

富士山について

◆ 2013年6月22日

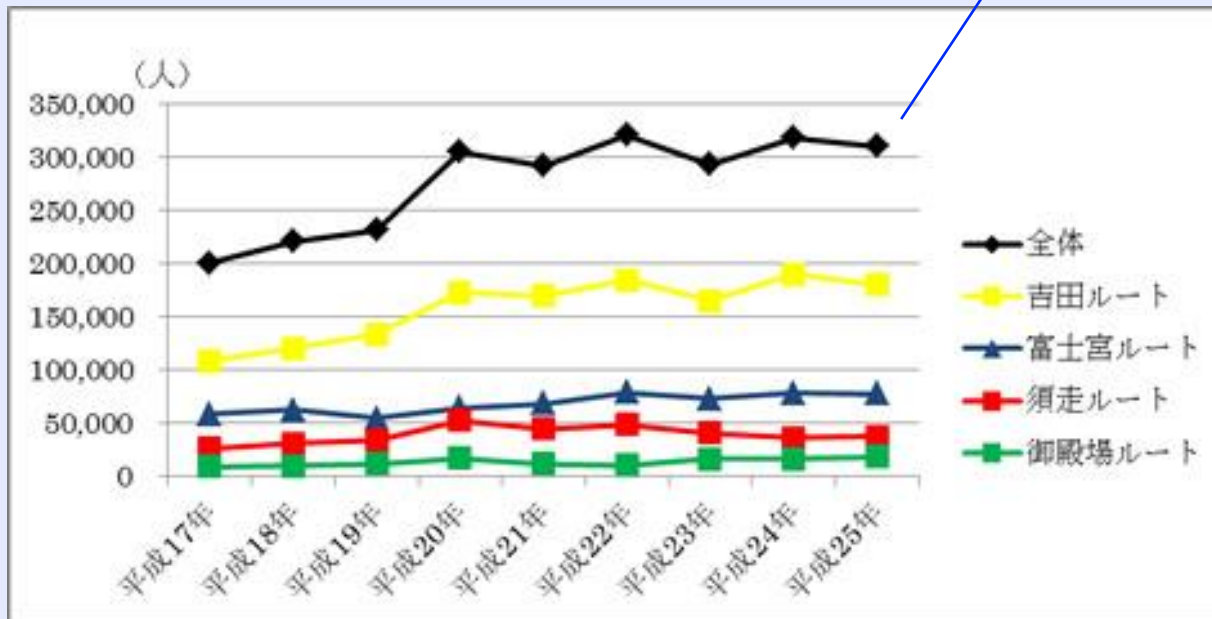
「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」として周辺の文化財群とともに、世界文化遺産として登録される

◆ 世界文化遺産登録に伴い、来年の夏からは本格的に入山料の導入が始まる

富士山について

- ◆ 登山者数は年々緩やかに増加している
→ 世界遺産に登録されたことで今後さらに増えるのではないか??

30万人弱



出典:
http://kanto.env.go.jp/pre_2013/data/0910ab.jpg⁸

富士山について

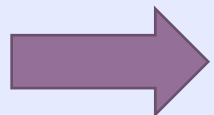
◆ さらに、今後富士山麓周辺への旅行者は登山客以上の増加が見込まれる

◆ 実際に...

4月末にイコモスによる富士山の世界遺産への登録勧告がされると、

5～7月に富士山周辺を訪れた観光客は約511万1000人で、前年同期と比べ59万2000人(13.1%)増加した

(9月7日山形日日新聞より)



富士山の環境保全が必須に！！₉

入山料

- ◆ 今年の7月**25**日から8月**3**日の**10**日間，入山料の徴収を試験的に導入
- ◆ 登山者1人につき**1000**円の協力を求める(任意)
- ◆ 結果，期間中に**34,327**人から**3412万9822**円が集まる

(2013年8月4日朝日新聞より)

入山料

- ◆ 山梨，静岡両県が約**3300**人の登山者に行った入山料導入に関するアンケートによると，
→ 賛成が79%となり，反対の3%，どちらともいえないの15%を大きく上回った
→ 金額についても1人**1000～2000**円未満が多かったが，**2000**円以上と答えた人も**38%**に上った
- ◆ しかし，徴収した入山料の使い道はまだ決まっていない

レンジャー(自然保護官)

- ◆ 環境省の地方支分部局である地方環境事務所に置かれる官職。
- ◆ 国立公園の保護管理のほか、野生生物保護、外来生物対策、里地里山保全など多岐にわたる自然環境保全業務を行う。
- ◆ 全国に**273**名弱しかおらず、業務の**9**割をデスクワークが占めており、野外での活動範囲が限定されているのが現状。



アクティブ・レンジャー

- ◆ レンジャーを補佐し、国立公園内のパトロール、調査、自然解説や地域のパークボランティアとの連絡調整などを行う環境省の非常勤職員。
- ◆ それぞれの国立公園ごとに募集がかけられ、任期は短く、長くても**3年**。



都レンジャー(東京都)

- ◆ 国立公園、国定公園、都立自然公園、自然環境保全地域及びそれらに隣接する緑地に立ち入る観光客等の利用者に対する利用マナーの普及啓発及び指導
- ◆ 動植物の生息、生育状況等自然環境の継続的な観測及び監視
- ◆ 小笠原諸島における旅客船又は観光船が発着する際に行う、動植物の持ち込み、持ち出し等乗船者への検査等移入種対策への協力

都レンジャー(東京都)

- ◆ 多摩地域陸域の自然公園8箇所（国立:1 国定:1 都立:6）と小笠原諸島にて活動



http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/natural_environment/park/ranger/sphere_activity.html

富士山レンジャー(山梨県)

- ◆ 雇用期間…最長5年
- ◆ 構成人数…4人(…少ない)
- ◆ 活動範囲…山梨県富士吉田市など1市1町3村内の国立公園
- ◆ 活動内容
 - ①来訪者へのマナー啓発
 - ②来訪者への自然解説等
 - ③動植物の保護とその情報収集

富士山エコレンジャー(静岡県)

構成人数…24人(H25年現在)

活動内容

- ①来訪者へのマナー啓発
 - ②来訪者への自然解説等
 - ③動植物の保護とその情報収集
- あくまでもボランティア！

現在富士山を守っているのは...

- ◆ 環境レンジャー...6人
 - ◆ 富士山レンジャー...4人
 - ◆ アクティブレンジャー...5人
 - ◆ 富士山エコレンジャー...24人(時々)
- 計...15人(+24人)



少なすぎる!!

問題意識

- ◆ 富士山への観光客、登山客の増加が見込まれる中、現在のような人手不足の体制では十分なモニタリングができないのではないか。
- ◆ 特に現地モニタリングに関わる富士山レンジャーの数が少ない
- ◆ 富士山を保全するためのネットワークが様々で情報のやりとりが非効率的

政策提言

1、

- ・ 富士山レンジャーの積極的な採用と任期を拡大させ、専門性を高める。

2、

- ・ 環境省レンジャーの季節間での流動性を高める

3、

- ・ 各レンジャーのネットワーク一体化

1、

- ・ 富士山レンジャーの積極的な採用と任期を拡大させ、専門性を高める

- ◆ 任期を5年から定年までに拡大させ、富士山のモニタリングに関して専門性を高める
- ◆ 隔年ごとに若者の積極的採用を行い、モニタリングに関するノウハウを受け継げる制度を作る

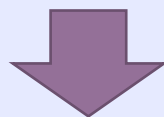


富士山のモニタリングに関するエキスパートの養成

2、

- ・ 環境省レンジャーの季節間での流動性を高める

繁忙期の夏だけ、地方の環境省レンジャー数名を富士山のレンジャーとして異動させる



事務作業だけでなく十分なモニタリングが可能

(環境省レンジャーは2, 3年おきに赴任地を異動するものなので、異動に関しては寛容な意思を持っている)

3、

・ 各レンジャーのネットワーク一体化

- ◆ 富士山のエキスパートである山梨の富士山レンジャー
- ◆ 静岡のボランティア団体のエコレンジャー
- ◆ 国のレンジャー（環境省レンジャー&アクティブレンジャー）

→ 情報を共有することで、より効率的なモニタリングが可能に

コスト



◆ 入山料からまかなう

ニュージーランドのトンガリロ山では80人以上のレンジャー(保護管理員)やモラルアップなど、環境保全活動のために、年間**3億円**が使われている
(富士山基金より)

富士山レンジャー	4人→15人
環境省レンジャー	6人→10人
アクティブレンジャー	5人→5人
合計	15人→30人

コスト

富士山レンジャー	4人→15人
環境省レンジャー	6人→10人
アクティブレンジャー	5人→5人
合計	15人→30人

2倍

80人で3億かかるので

すなわち人件費30人で
 $3\text{億} \times \frac{30}{80} = 1.12\text{億円}$ 必要

年間の登山者数を30万人、一人1000円入山料をとると
仮定すると

$30\text{万(人)} \times 1,000\text{(円)} = 300,000,000\text{円} = 3\text{億円}$ の収入

人件費を2倍
にしてもまだ
余裕！

3億円 > 1.12億円

参考文献

- ◆ Wikipedia「富士山」(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AF%8C%E5%A3%AB%E5%B1%B1>)
- ◆ 富士山基金(<http://www.mtfuji.or.jp/fund/>)
- ◆ 富士山エコレンジャー日記(<http://koyoshina.cocolog-nifty.com/fuji/>)
- ◆ EICネット(<http://www.eic.or.jp/qa/?act=view&serial=29922>)
- ◆ 視点・論点 富士山をどう守る(<http://www.eic.or.jp/qa/?act=view&serial=29922>)
- ◆ 富士登山オフィシャルサイト(<http://www.fujisan-climb.jp/>)
- ◆ 地元人おすすめブログ(<http://www.yamanashi-kankou.jp/blog/index.php?date=2013-04-16&cID=7>)
- ◆ 富士山ネットワーク(<http://www.fujisan-net.gr.jp/nature/index.htm>)
- ◆ 環境省～レンジャーを目指す方へ～(<http://www.fujisan-net.gr.jp/nature/index.htm>)
- ◆ 富士の国～やまなし観光ネット(<http://www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/mamoro/mamoro004.html>)
- ◆ スポニチアネックス
(<http://www.sponichi.co.jp/society/news/2013/08/04/kiji/K20130804006353370.html>)
- ◆ Wikipedia「トンガリロ山」
(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%88%E3%83%B3%E3%82%AC%E3%83%AA%E3%83%AD%E5%B1%B1>)
- ◆ 富士山ネットHP: www.fujisan-net.jp
- ◆ 山梨県公式観光HP: www.yamanashi-kankou.jp/fujisan/fujisan001.html
- ◆ 関東地方環境事務所HP: http://kanto.env.go.jp/pre_2013/0801a.html
- ◆ 山形日日新聞 2013年9月7日
- ◆ 朝日新聞 2013年8月4日

